

令和6年9月定例会議 一般質問

9番議員 佐々木 昇

熱中症対策を万全に

近年、日本での気象観測において、猛暑日（日最高気温が35℃以上の日）や酷暑日（日最高気温が40℃以上の日）の日数が年々増加傾向にあり、それと同時に熱中症の被害も増加している。

熱中症は、軽い症状から重症なものまで、段階的にいくつかの症状がみられ、場合によっては、生命の危険を伴うこともあるとされている。

熱中症はいつでもどこでも誰でも条件次第で熱中症にかかる危険性があるが、正しい予防法を知り、普段から気をつけることで防ぐことができるとされ、国では各省庁がガイドラインを策定するとともにポスターやリーフレットを作成し地方自治体等を通じて熱中症予防・対処法の普及啓発を積極的に進めている。

本町でもこれらを基に熱中症対策へ取り組んでいるが、現在の取り組みを踏まえ、町民を守るべくさらに充実した熱中症対策へ取り組みが必要と考え町の見解を問う。

- ① 熱中症の被害発生状況は。
- ② 本町の熱中症対策の取り組みは。
- ③ 高齢者や障がい者を対象とした熱中症対策の取り組みは。
- ④ 学校教育活動等に関する熱中症対策の取り組みは。